

# 校 区 別 構 想

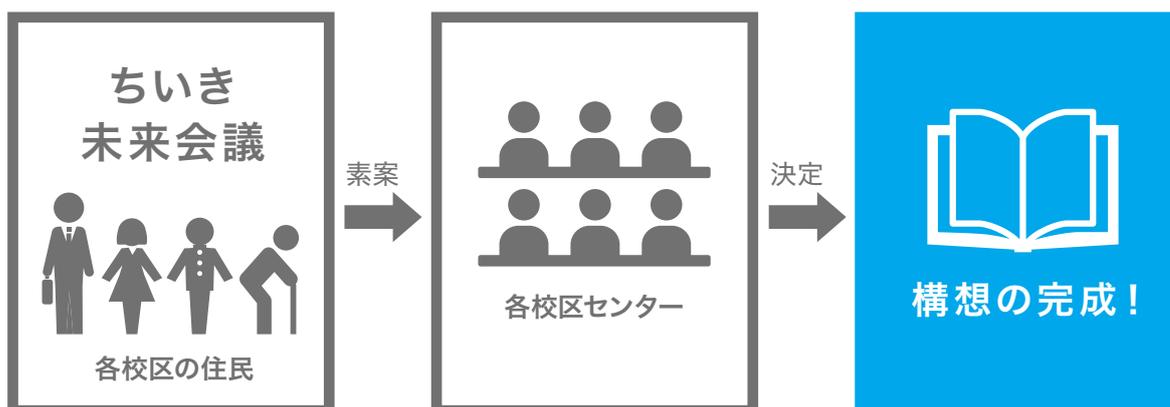


近年、日本は少子高齢化、人口減少社会に突入し、また、多くの自然災害に見舞われています。このような中、福祉や防災を始めとする様々な場面で、地域に住む住民同士の繋がりや助け合いが見直されています。大刀洗町では2009（平成21）年度から10年間、町内4つの小学校区を地域の基本単位として、校区ごとに様々な地域づくりを進めてきました。この間、校区センターの運営を行政主体から住民主体へと変更し、校区ごとに新たな活動に取り組む等、住民主体の地域づくりは確実に進んでいます。

この機運を絶やすことなく、住民の皆さんがより計画的に地域づくりに取り組んでいく一助とするため、「第5次大刀洗町総合計画」策定の機会を捉え、校区別の構想も併せて形にすることとしました。

## 構想ができるまで

「校区別構想」は、完成まで多くの住民の皆さんにご協力いただき、全3回のワークショップ「ちいき未来会議」を中心に、校区ごとに話し合いを重ねました。



## 「ちいき未来会議」参加者名簿

50音順、敬称略

秋吉 定利	甲斐 有果	田中 誠治	堀内 弘樹
安達 信弘	掛橋 麻希	棚町 悠加	松本 哲雄
井手 徹	古賀 そのみ	棚町 涼雅	松本 七実
井上 聖基	古賀 世章	床島 綾美	宮崎 誠
今村 菊子	小宮 利彦	床島 真寿美	村山 真知子
上杉 佳大	佐藤 誠也	野村 一斗	森 滝子
大野 耕太郎	實藤 花	林田 かおり	安丸 叶恵
大野 華子	白石 真夢	平田 清二	矢永 忠則
大野 祐子	鈴木 雅也	平田 響	矢野 凜
鬼塚 絢菜	田中 賢	福島 亮太	山崎 大輝



# 校区別構想の見方

校区別構想は、各校区の住民が、自分たちの校区の特色や魅力、課題を捉えなおし、10年後、より住みよい校区であるために自分たちができることを考え、まとめたものです。

## キャッチフレーズ

地域づくりの方向性をキャッチフレーズで表しました。

## こんなところ

校区の地理的特徴や主要特産物を紹介しています。また、人口の推移や、年齢別の人口構成を記載しています。

## 魅力

校区の魅力として、校区の住民から寄せられた意見を記載しています。

資料編



## 大堰校区



野菜も人も大きく育つ地域づくり  
～水と緑を活かした大堰～

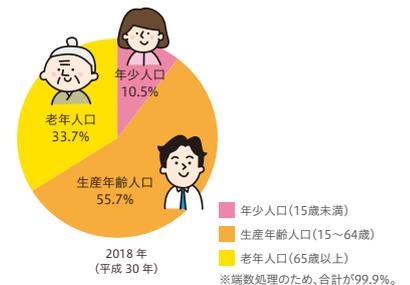
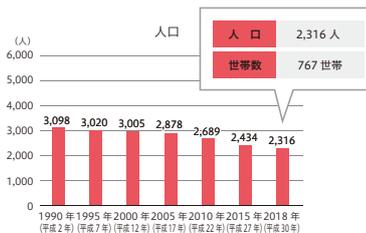
● 筑後川をはじめとする7つの河川が流れ、初夏に小石原川や三川地区でホタルが飛び交う様子を眺めることができる等、水の流れる感じられる恵まれた環境です。

地域の大部分が豊かな土壌を活かして農地として利用され、ネギやホウレンソウ、レタスといった野菜の栽培が盛んです。

歴史的には、大刀洗町、久留米市、小郡市等の広大な田に水を送る「床島堰」や、堰の建設に尽力した五庄屋を祭る「大堰神社」があります。

西鉄大堰駅周辺に公民館や図書館、庁舎等の公共施設が集まっています。

### 地域データ 出典：住民基本台帳



### ここが魅力

ホタルの生育環境を整えたから、小石原川で毎年ホタルが飛ぶようになった。



新鮮な野菜が豊富で美味しい。



地域で交流できる夏祭りが楽しい。



第1部  
序論

第2部  
基本構想

第3部  
基本計画

快適

美しい

安心

賑わい

健やか

温かい

学び

協働

拓く

資料編

## 課題とわたしたちができること

### 課題 1 | 地域のことをよく知らない

- 積極的に地域に関わっている人を除いて、自分たちの地域のことをよく知らない人が多い。
- ホテルの保全活動が盛んだが、活動を知らない人も多く、もっと多くの人に知ってもらいたい。

### わたしたちができること | 地域のことを知ろう、魅力を伝えよう

- 校区センターへ行き、地域の情報を集める。
- 友人等誰かに紹介できるくらい、地域のことを調べてみる。

### 課題 2 | 個人で解決できない困りごとがある

- 運転免許証を自主返納したことで、買い物や通院に困っている人がいる。
- 一部の行政区や個人間で行われている買い物等の送迎支援を、校区全体に広げたい。

### わたしたちができること | 無理のない範囲で気持ちよく助け合おう

- 助け合いを長く続けていけるように、特定の個人に負担がかかる方法は避け、近隣住民同士、負担にならない範囲で助け合う。
- 近所の人、特に独居高齢者世帯の様子を気にかける等、出来ることから始める。

### 課題 3 | 人口が減少傾向にある

- 10年前と比べると、人口が減ってきている。
- 空き家が増えてきている。

### わたしたちができること | 人口減少をポジティブに乗り切ろう

- 子育て世代が住みやすい地域づくりを考える。
- 人口が減っても、住んでいる人が住みやすい地域であり続けることが大切。そのための地域づくりを考えていく。

自然が豊かで、  
空気が美味しい。



子ども見守り隊の活動  
が盛んなので、安心して  
子どもが登校できる。



筑紫次郎とも呼ばれる  
筑後川が流れている。

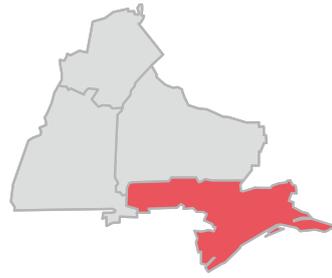


## 課題

ワークショップ「ちいき未来会議」で話し合った、各校区の課題、改善したいことを記載しています。

## わたしたちができること

校区の課題に対して、自分たちができること、していきたいと考えていることを記載しています。



## 大堰校区

### 野菜も人も大きく育つ地域づくり ～水と緑を活かした大堰～

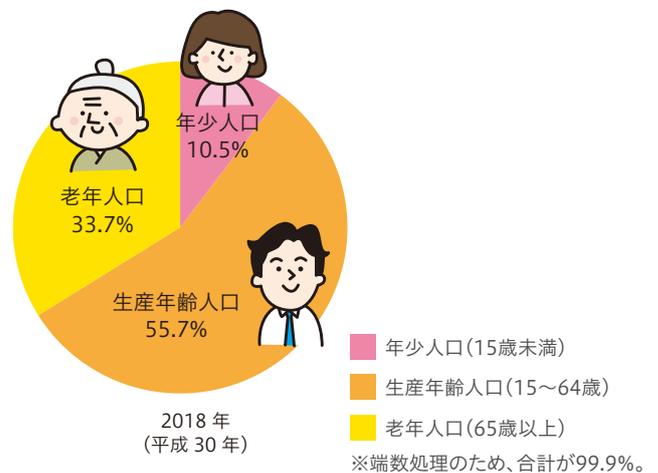
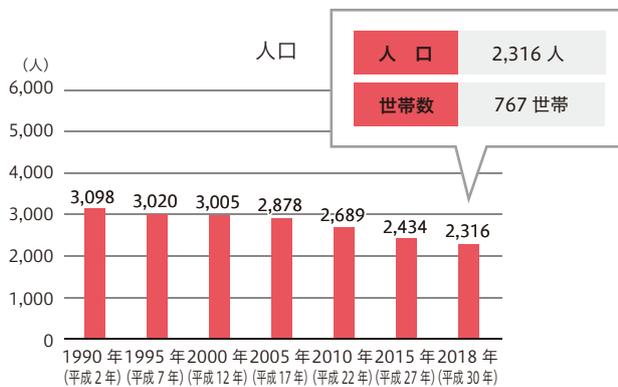
筑後川をはじめとする7つの河川が流れ、初夏に小石原川や三川地区でホタルが飛び交う様子を眺めることができ、水の流れを感じられる恵まれた環境です。

地域の大部分が豊かな土壌を活かして農地として利用され、ネギやホウレンソウ、レタスといった野菜の栽培が盛んです。

歴史的には、大刀洗町、久留米市、小郡市等の広大な田に水を送る「床島堰」や、堰の建設に尽力した五庄屋を祭る「大堰神社」があります。

西鉄大堰駅周辺に公民館や図書館、庁舎等の公共施設が集まっています。

#### 地域データ 出典：住民基本台帳



#### ここが魅力

ホタルの生育環境を整えたから、小石原川で毎年ホタルが飛ぶようになった。



新鮮な野菜が豊富で美味しい。



地域で交流できる夏祭りが楽しい。



# 課題とわたしたちができること

## 課題 1 | 地域のことをよく知らない

- 積極的に地域に関わっている人を除いて、自分たちの地域のことをよく知らない人が多い。
- ホテルの保全活動が盛んだが、活動を知らない人も多く、もっと多くの人に知ってもらいたい。

## わたしたちができること | 地域のことを知ろう、魅力を伝えよう

- 校区センターへ行き、地域の情報を集める。
- 友人等誰かに紹介できるくらい、地域のことを調べてみる。

## 課題 2 | 個人で解決できない困りごとがある

- 運転免許証を自主返納したことで、買い物や通院に困っている人がいる。
- 一部の行政区や個人間で行われている買い物等の送迎支援を、校区全体に広げたい。

## わたしたちができること | 無理のない範囲で気持ちよく助け合おう

- 助け合いを長く続けていけるように、特定の個人に負担がかかる方法は避け、近隣住民同士、負担にならない範囲で助け合う。
- 近所の人、特に独居高齢者世帯の様子を気にかける等、出来ることから始める。

## 課題 3 | 人口が減少傾向にある

- 10年前と比べると、人口が減ってきている。
- 空き家が増えてきている。

## わたしたちができること | 人口減少をポジティブに乗り切ろう

- 子育て世代が住みやすい地域づくりを考える。
- 人口が減っても、住んでいる人が住みやすい地域であり続けることが大切。そのための地域づくりを考えていく。

自然が豊かで、  
空気が美味しい。



子ども見守り隊の活動  
が盛んなので、安心して  
子どもが登校できる。



筑紫次郎とも呼ばれる  
筑後川が流れている。



第1部  
序論

第2部  
基本構想

第3部  
基本計画

快適

美しい

安心

賑わい

健やか

温かい

学び

協働

拓く

資料編



## 本郷校区

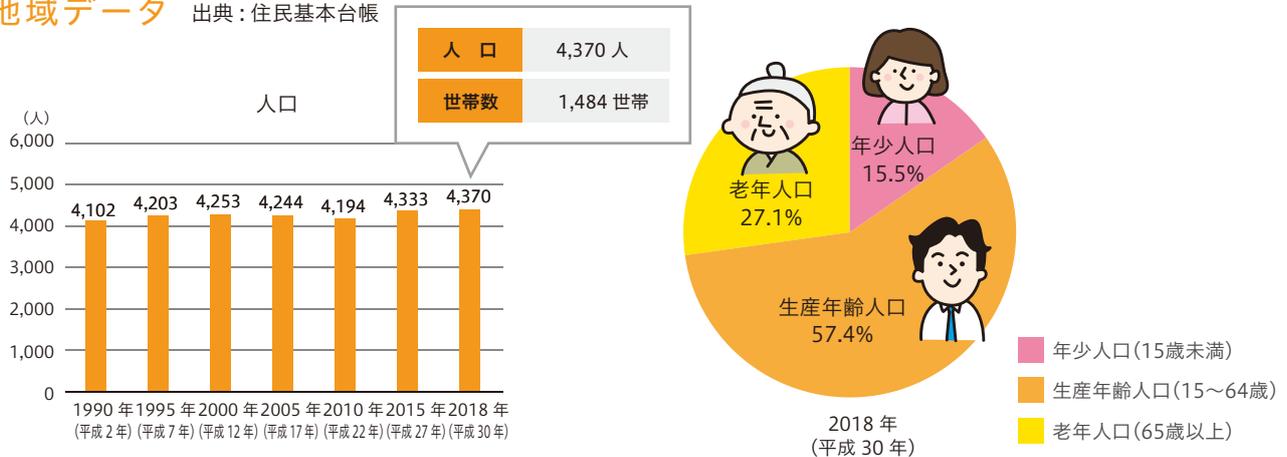
豊かな自然と歴史を活かした地域づくり  
～先人<sup>の</sup>偲ぶ ロマンあふれる故郷 本郷～

中央部には江戸時代の宿駅を基礎とした街並みが残る一方で、近年では宅地分譲が盛んです。周囲には農地が広がり集落が点在しています。

昔ながらの街並みの中に「三原城址」や、県指定文化財「西光寺」の「木造阿弥陀三尊像」等歴史的資源があります。また、「勤労者体育センター」や「運動公園」があり、スポーツ活動が行われています。

西鉄本郷駅は、昔から住民の移動手段として利用されているほか、高速バス停留所もあり福岡方面や日田方面へのバス移動も可能です。

### 地域データ 出典：住民基本台帳



### ここが魅力

校区センターや分館で行う体操への参加者が増えて、健康づくりが進んでいる。



子どもたちが積極的にボランティアに参加している。



気軽に集まれる有志のカフェやサロン等、集いの場がある。



# 課題とわたしたちができること

## 課題 1 | 地域の情報が足りない、伝わっていない

- 行事の告知等、情報発信が課題。もっと良い方法があるのではないか。
- 災害時の避難場所や経路等、重要な情報を自分たちで確認、共有する機会を設けたい。

## わたしたちができること | 地域の情報を共有し、学びの機会を作ろう

- 校区センターが発行している「センターだより」を読む。
- 校区センターで配布しているイベントや講座等の案内もチェックし、参加してみる。

## 課題 2 | 中学生・高校生が行事に参加する機会が少ない

- 小学生まではお祭りに踊り手として参加する等、行事に関わる機会が多かったが、中学入学以降、地域と関わる機会が少なくなった。

## わたしたちができること | 様々な世代と一緒に楽しめる催しをしよう

- 行事の主催者は学校との連携を図る等、中学生・高校生の参加も促す。
- 中学生・高校生は企画や準備に携わる等、積極的に行事に参加してみる。

## 課題 3 | 地域の活動に参加しない人が増えた

- 以前は住民のほとんどが参加していた清掃等の活動にも、参加しない人が増えている。

## わたしたちができること | 地域活動を始めやすい雰囲気を作ろう

- 既に行事等に参加している人が、まだ参加していない人へ積極的な声かけをする。
- 新たに参加しやすい雰囲気で作迎える。

案山子づくりや  
灯籠づくり等、  
地域活動が盛ん。

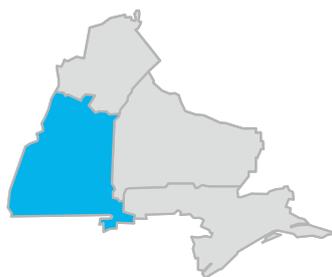


子どもたちを温かく  
見守ってくれる  
地域の人が多いので、  
安心して子育てできる。



たくさんの方が  
環境美化運動に  
参加している。





## 大刀洗校区

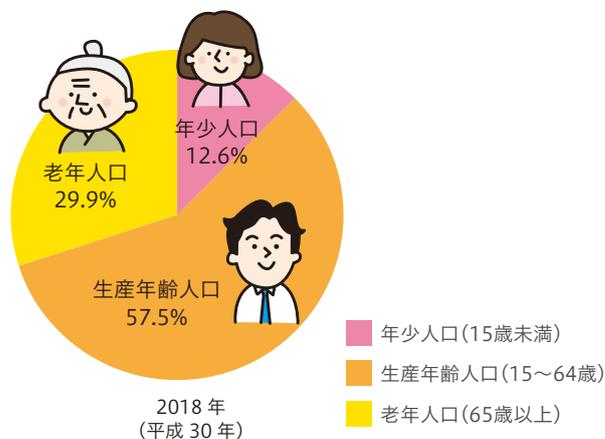
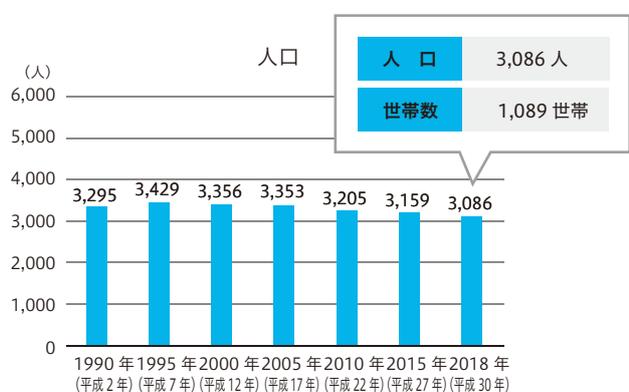
いつまでもすくすく育つ地域づくり  
～私たちの故郷 そして未来～

奈良時代の役所跡である「下高橋官衙遺跡」があるほか、国指定重要文化財である「今村天主堂」には礼拝や観光で訪れる人が増えています。

地域内の大部分に区画整備された農地が広がり、米、麦、大豆を中心に作られています。

国道や県道が地域内を通っていて、自動車による利便性は比較的高いものの、鉄道等の公共交通機関がないため、地域独自の取り組みとして、主に高齢者の移動支援である「校区巡回バス」が運行されています。

### 地域データ 出典：住民基本台帳



### ここが魅力

自然が豊かで、かえるの合唱が聞こえるのも心地良い。



国指定重要文化財の「今村天主堂」がある。



新鮮で美味しい地元野菜が豊富。



# 課題とわたしたちができること

## 課題 1 | 地域で交流するきっかけがつかめない

- 小学生の頃までは行事に参加していたが、中学入学以降、参加の機会がなくなった。
- 今知っている人以外に、新しく知り合う機会がない。
- 顔なじみの集まりに、一人では参加しづらい。

### わたしたちができること | 意識的に交流の機会を増やそう

- 交流の最初の一步として、日頃から挨拶する。
- 既に地域活動を行っている人は、新たに参加したいと考えている人に積極的に声かけをする。

## 課題 2 | 一緒に活動する仲間を集めたい

- 中学生・高校生が中心となって、行事を企画してみたい。
- 自分が行っている地域活動の参加者を増やしたい。

### わたしたちができること | 自分たちの価値観で地域を育てよう

- 行事、イベントを自分たちで企画する。
- 他校区とも連携し、多くの意見を聞くことで自分たちの活動を発展させる。

## 課題 3 | 行われなくなった行事がある

- 子どもたちが地域の家を回り、お菓子をもらう行事「名月さん」等が行われなくなり残念。
- 担い手が減ったことにより、行事が減った。

### わたしたちができること | 帰ってきたくなる故郷をつくろう

- 今行われている行事が、今後も続けていけるよう、積極的に参加する。
- 無料で乗車でき、主に高齢者の移動支援となっている「校区巡回バス」等、新たに始まった取り組みを継続、発展させていく。

「校区巡回バス」は誇れる取り組みだ。これからも続いて欲しい。



ボランティアに積極的な人が多い。



日頃から住民同士の繋がりががあるから心強い。





## 菊池校区

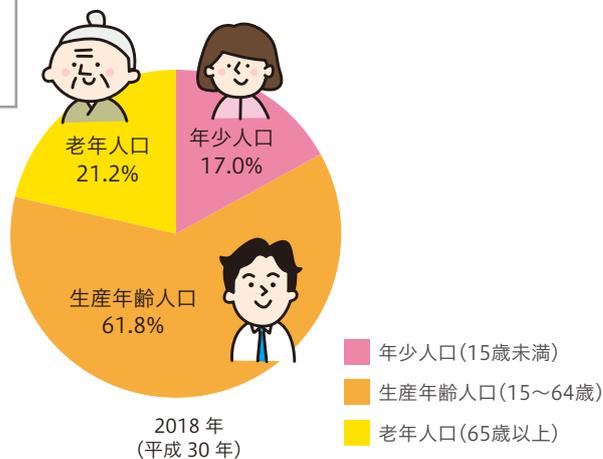
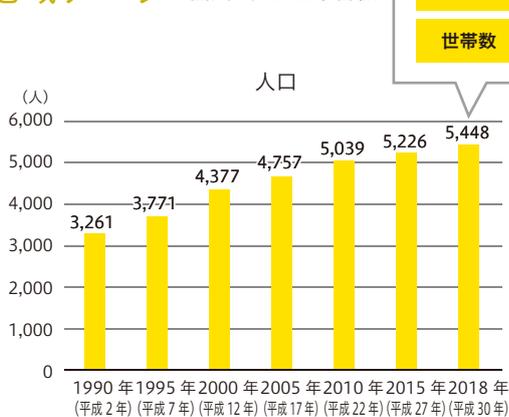


元気に集い、気軽に始める地域づくり  
～私たちらしい場所 菊池～

大刀洗飛行場等施設跡を中心に工業団地が形成され、国道500号線沿いを中心に分譲地が開発されてきました。大分自動車道筑後小郡ICが付近にあり、甘木鉄道も西鉄・JRに接続しているため交通の利便性が高い地域です。また、町内でも比較的高台にあり水害の心配が少ないことから、宅地分譲や賃貸住宅の建設が活発で、人口が増えています。

町名の由来である大刀洗川が園内を流れる「大刀洗公園」には、「菊池武光」の銅像も設置され、休日には家族連れも多く訪れる憩いの場となっています。

### 地域データ 出典：住民基本台帳



### ここが魅力

カラオケ大会やクリスマスパーティ等、行事が多くて楽しい。



地域活動を通じて、友達が増えるのが楽しい。



田植え稲刈りの姿が、季節を感じるの素敵。



# 課題とわたしたちができること

## 課題 1 | 様々な人を地域づくりに巻き込む

- 児童や高齢者向けの行事が多く、中学生・高校生等若い世代が参加できる行事が少ない。
- 地域の行事や活動に参加していない人にとっては、地域の課題を身近に感じづらい。

わたしたちができること

### 元気に楽しんで活動に参加しよう

- 自主企画、自主運営を原則に、若者が集まれる場所や活動を、若者で作る。
- 地域活動等に参加している人は、その活動の様子を伝える。楽しんでいる様子を伝えることが参加者を増やす第一歩。

## 課題 2 | 繋がりが薄くなったように感じる

- 挨拶をしない人、行事に参加しない人が増えている。
- 数十年の間に近所づきあいも変わった。昔と同じように交流を持つことは困難だと思う。

わたしたちができること

### 時代に合った気持ちの良い繋がり方を見つけよう

- 日頃から挨拶を心がける。
- お互いの考えを尊重し、交流を進める。
- 町外や外国から転居して間もない等、馴染みがない人も参加しやすい行事を企画し、声をかける。

## 課題 3 | 菊池らしい地域づくりをする

- 他校区と同じ画一的な取組みでなく、菊池らしさ、菊池の良さを大切にしたい取り組みを考えたい。

わたしたちができること

### ちょうど良いサイズ感を大切にしよう

- 地域間の情報交換で、良いところは取り入れ、自分たちの良いところも再確認する。

花火大会の花火が、  
自宅からでも見える。



甘木鉄道が走る姿が  
のどかで好き。



「大刀洗公園」が  
近くにあり、  
子どもを遊ばせやすい。

